

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1021	(H.24)No.	1021
-----------	------	-----------	------

事務事業名	人権週間事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	人権・男女共同参画推進室	保田 謙吾	

会計区分	事業コード	100606
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	人権啓発推進費	
項 人権政策費	(小事業名)	
目 人権政策推進費	人権週間事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	1	人を大切にする社会の創造
	施策	1	人権尊重
	小施策	1	人権意識の向上
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
学校人権教育を促進する。 市民へ人権を考えるきっかけを与える。 入選者を「ふれ愛コンサート」で表彰したり、入選作品で啓発物品を作成するなど二次的な啓発効果が望める。
事業内容
人権週間(12月4～10日)関連各種啓発事業 ・人権作品の募集と人権作品展の開催 ・ふれ愛コンサートにおける人権作品の表彰 人権作文の朗読発表 ・街頭啓発の実施(啓発物品の作成) ・懸垂幕、のぼりによる啓発 ・広報なぼり人権週間特集記事の掲載 ・ケーブルテレビを活用した啓発

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	人権週間ふれ愛コンサート (12/9 ADSホール 650名) 第1部 人権作品の表彰 人権作文朗読発表 第2部 バイマージン トーク&コンサート * 第2部は人権センター委託 人権週間街頭啓発 (12/4 市内10ヶ所 75名従 事)ポケットティッシュ配布 13,000個作成 147千円 人権作品募集 (応募総数13,739点) 応募者記念品ほか 117千円 ポスター作成 76千円	人権週間ふれ愛コンサート (12/8 ADSホール) 第1部 人権作品の表彰 人権作文朗読発表 第2部 人権文化コンサート * 第2部は人権センター委託 人権週間街頭啓発 (12/4 市内10ヶ所) ポケットティッシュ作成配布 153千円 人権作品募集 応募者記念品 79千円 ポスター作成 84千円 ポスター展 9千円

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
人権週間ふれ愛コンサート第1部 * 第2部は委託 人権週間街頭啓発 人権作品募集	人権週間ふれ愛コンサート第1部 * 第2部は委託 人権週間街頭啓発 人権作品募集	人権週間ふれ愛コンサート第1部 * 第2部は委託 人権週間街頭啓発 人権作品募集

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	340千円	325千円	325千円	325千円	325千円
内訳(千円)					
国・県支出金		146		146	
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 340	179	325	179	325
人工数					
職員	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 4,620千円	4,620千円	4,620千円	4,620千円	4,620千円
+ 総事業費	(0千円) 4,960千円	4,945千円	4,945千円	4,945千円	4,945千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
「ふれ愛コンサート」第1部の人権作文朗読発表は毎年高い評価を得ている。H.24年度から第2部を名張市人権センターに委託したが、参加者から非常に高い評価を得た。人権作品の募集については、「高校生、一般」からの応募が低調で対策が必要である。	「ふれ愛コンサート」第2部については引き続き人権センターへ委託する。人権作品の募集に関しては、市内4つの県立学校と近大高専を訪問し、学校長に丁寧に趣旨説明し取り組みを依頼する。一般市民へもホームページやポスター(ゼロ予算)を活用し周知に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	「ふれ愛コンサート」は市民が人権との関わりを実感できる最大のイベントであることが参加者アンケートからうかがえる。街頭啓発では市民のみならず、従事いただく関係者への啓発効果も得られる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	さまざまな事業の企画段階で、地域づくり組織や各種団体の代表から意見をいただいているが、さらに深い連携について検討する。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
長年継続して取り組んでいるため、事業が形骸化しないように原点を見据えて取り組み内容を点検する。街頭啓発の実施場所や従事者、人権ポスター展の会場確保(市庁舎が原則使用不可)、高校生、一般の人権作品への取り組み促進などの課題解決に取り組む。	名張市人権施策基本方針 名張市人権施策基本計画